

学校関係者評価 協議記録

令和6年1月25日

参加者：民生児童委員 1名 社会福祉協議会 1名 保護者 4名

(1) 学校長より

学校評価アンケート及び皆様からの御意見を参考にし、令和6年度の学校運営を改善していきたいと考えています。忌憚のない御意見をお願いいたします。

(2) 学校評価アンケートについて（教頭）

17項目のうち、13項目が80%以上の肯定的な回答が得られています。生徒と教職員、生徒・保護者と教職員などのギャップがある部分に関して、改善が必要であると考えます。御意見については、別紙の表のとおりです。

(3) 出席者からの御提案・御意見

・コミュニティースクールについてもう少し詳しく聞かせてほしい。

⇒令和6年度から設置します。コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）は、学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」への転換を図るための仕組みです。地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていきます。教育委員会が学校を設置し、主な役割として、「校長が作成する学校運営の基本方針を承認する」、「学校運営に関する意見を教育委員会又は校長に述べることができる」、「教職員の任用に関して、教育委員会規則に定める事項について、教育委員会に意見を述べるができる」となっています。

・交通安全の問題が気になっています。

自転車に乗りながらスマホを見ている、ヘルメットをかぶっていない、あご紐をつけていない等がみられるという地域の方の声もあるがどうか。大人の方が自転車の乗り方が悪い部分もある。

動画の作成や生徒への周知、先生方のパトロール等の学校での指導の仕方についてよくわかった。

⇒命に係わることについては、引き続き指導していきます。地域の方からも直接声をかけていただくことで、生徒達も気づくことができる。ぜひお願いしたい。

・挨拶について、地域で見守りをしているとお礼を述べてくれる中学生が増えてきた。

⇒生徒達にも伝えていきたい。

・挨拶については、社会に出ても先手必勝といわれる。待っているのではなく、先生方も生徒も自分からすることを心掛けることが大切だと思う。

⇒教職員も自ら挨拶を行い、生徒の模範となるようにしていきたい。

・中学校の素晴らしさを地域の方々に伝えていきたい。学校行事などにも参加したいがどうか。

⇒地域の方々にも体育祭や文化祭等に招待できるよう、工夫していきたい。
ぜひ自治会等でもPRしていただきたい。

・新聞が置いてあり、活字に触れることができるのもすばらしいと思った。

⇒朝日新聞、読売新聞の販売店の御厚意で生徒用を寄贈していただいている。

・タブレットでの心の天気の良い取り組みである。生徒も気持ちを書き出したり、担任の先生との話題が多くなり、助かっている。

⇒昨年度より行っている。生徒の気持ちの変化等を気づけるように行っている。
日々の気持ちを担任に伝えることができるので、今後も活用していく。

・部活動の支援事業で外部指導者の方に関わっていただき、指導してもらえることを生徒たちが非常に喜んでいる。

⇒今年度より行っている。来年度以降も行っていく。

・部活動の大会や学校行事等が重なり、大変な時期がある。先生方に気にかけてもらい、対応することができたが、特に3年生は、受験もあるので工夫ができればしてもらいたい。

⇒学校行事や部活動の大会等が重なることは今後もある。生徒1人に負担がいかないように、みんなで工夫しながら行っていく。

・学校に楽しく通っている。何か困ったときに多くの友達が助けてくれ、先生方が親身に対応してくれる。とても安心している。

⇒引き続き、生徒が安心して過ごすことができる学校となるよう努力していく。

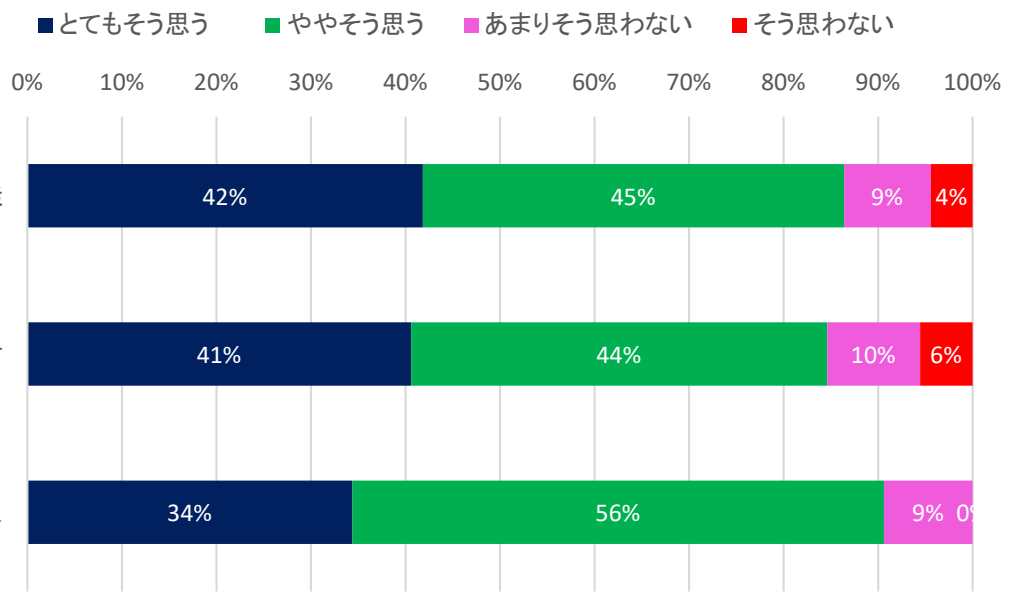
学校評価アンケート比較

生徒 538人 中490人 回答
保護者 504世帯中293世帯回答
教職員 47人 中 47人 回答

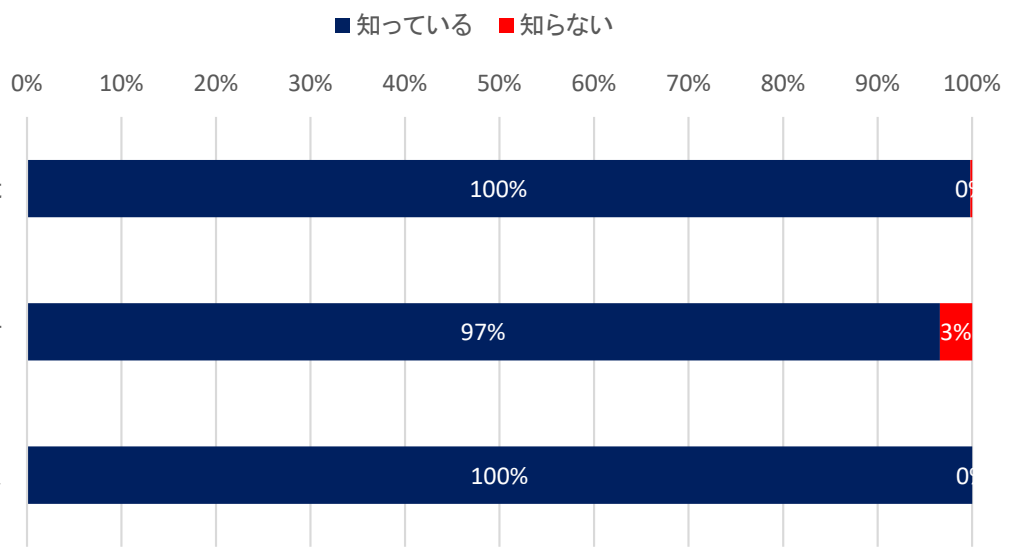
No.1

上段 令和4年度
下段 令和5年度

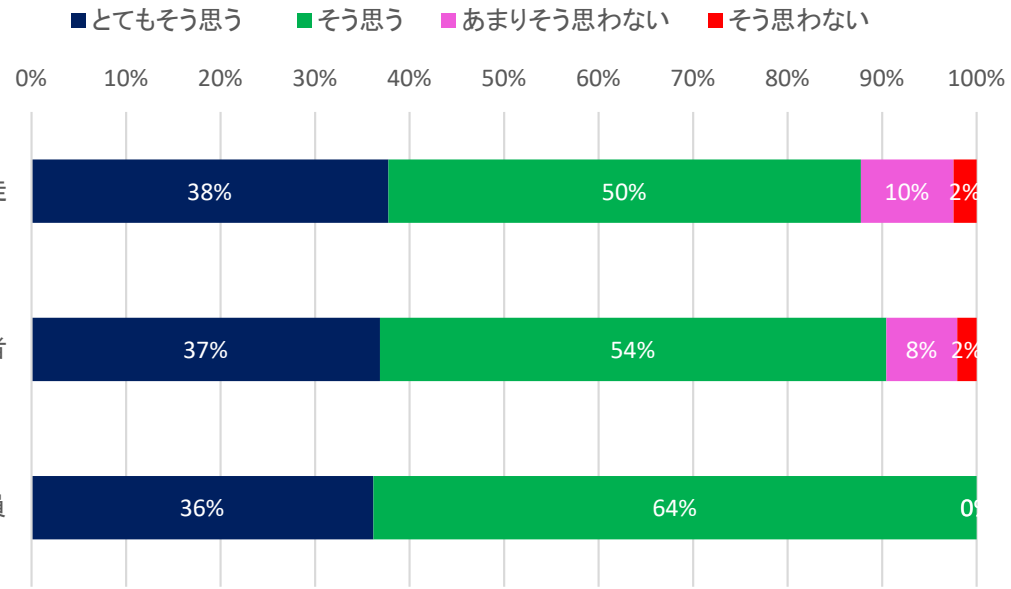
1. おおぐろの森中学校の生徒は、楽しく学校に通っている。



1. おおぐろの森中学校の学校教育目標が「自律」であることを知っている。



2. おおぐろの森中学校の生徒は、楽しく学校に通っている。

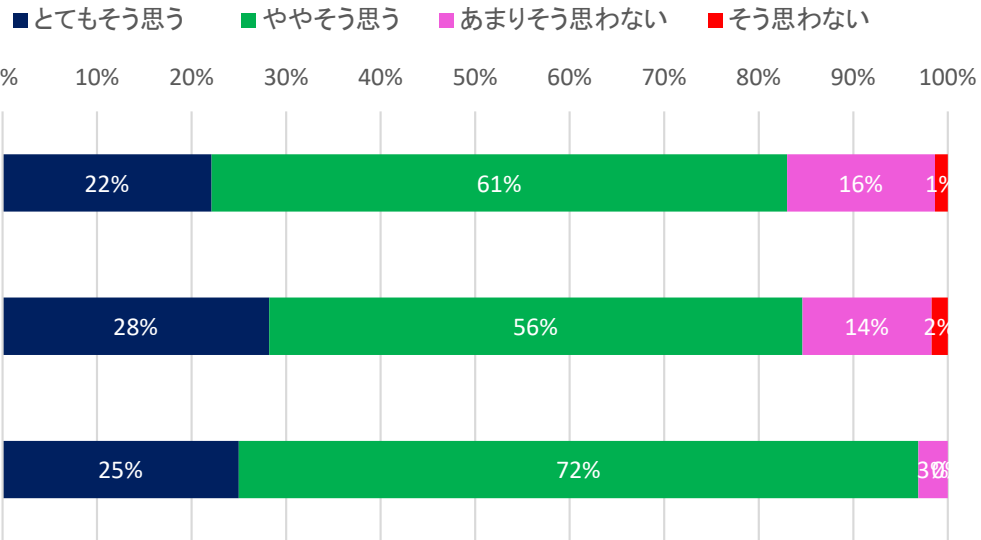


学校評価アンケート比較

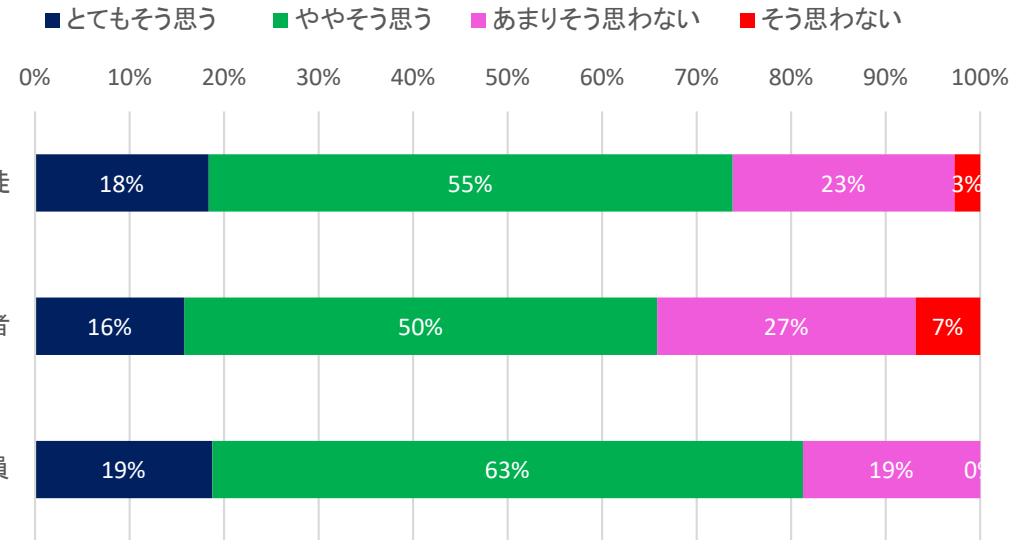
生徒 538人 中490人 回答
保護者 504世帯中293世帯回答
教職員 47人 中 47人 回答

No. 2

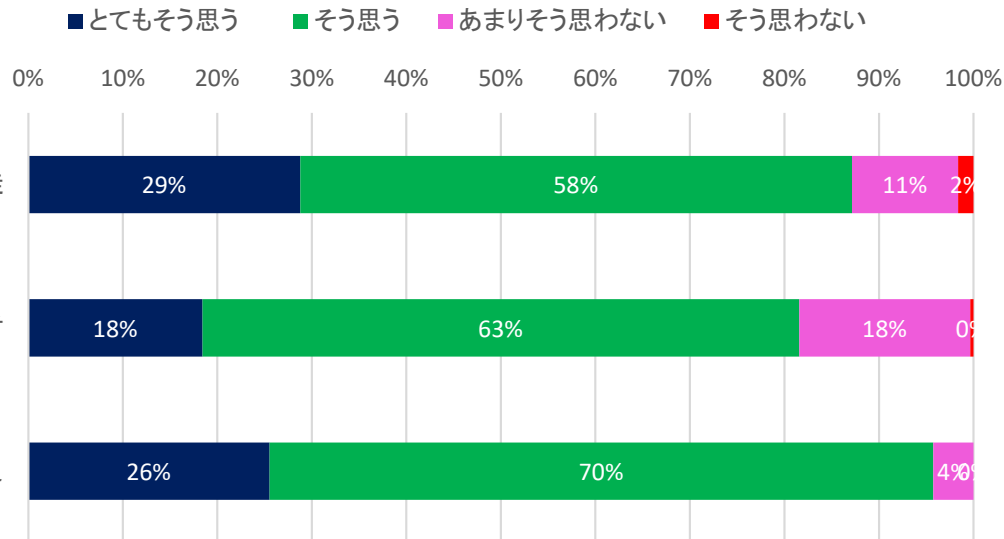
2. おおぐろの森中学校の生徒は、自ら考え選択して行動している。(自律)



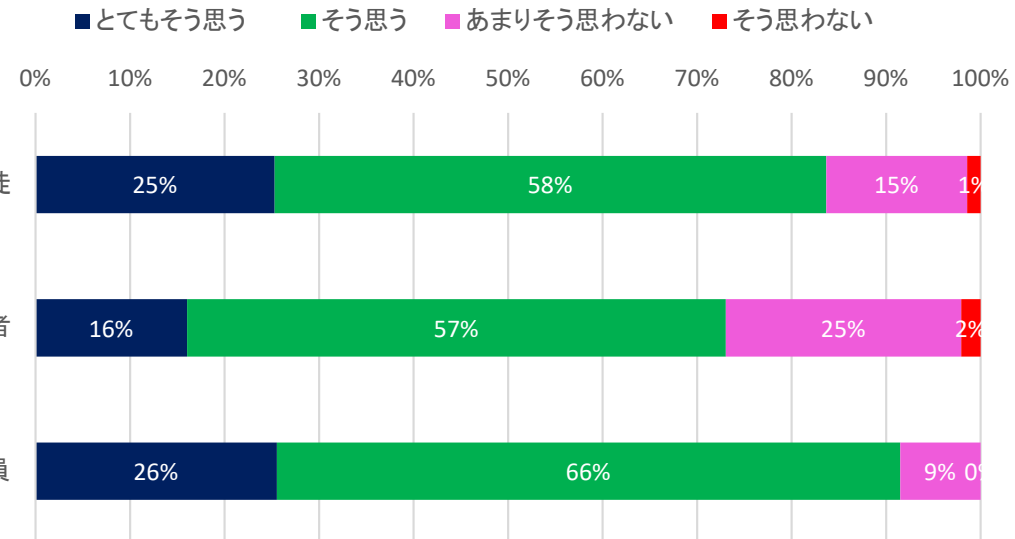
3. おおぐろの森中学校の生徒は、自らの学習や生活の目標を設定し、自ら考え、選択して生活している。(自立)



3. おおぐろの森中学校の生徒は、自ら考え選択して行動している。(自律)



4. おおぐろの森中学校の生徒は、自ら考え、意欲的に進んで生活している。(自立)

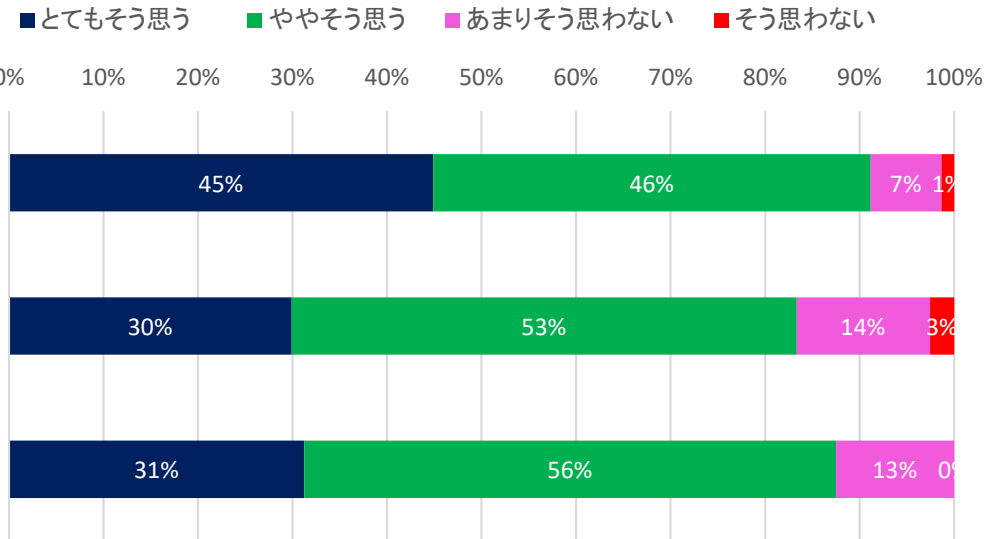


学校評価アンケート比較

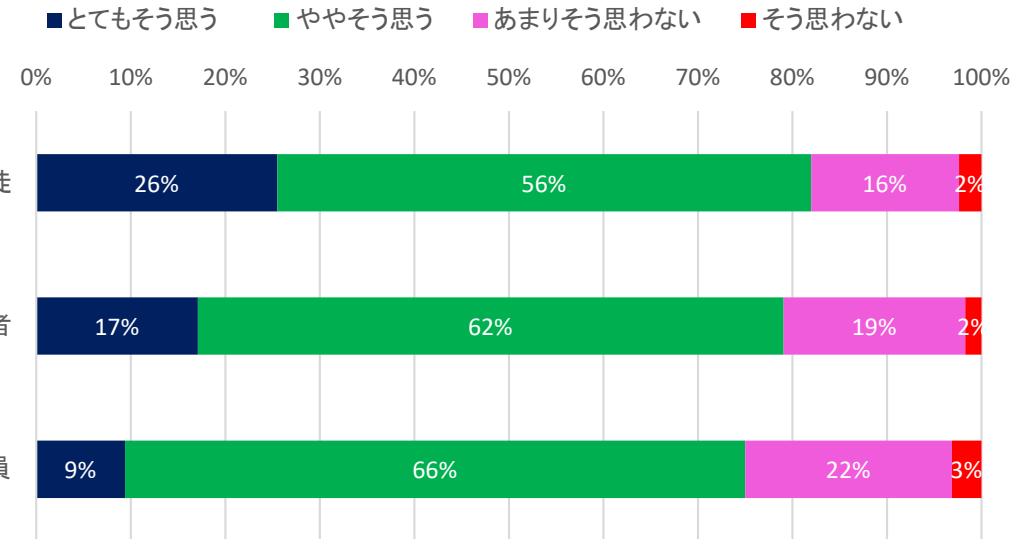
生徒 538人 中490人 回答
 保護者 504世帯中293世帯回答
 教職員 47人 中 47人 回答

No. 3

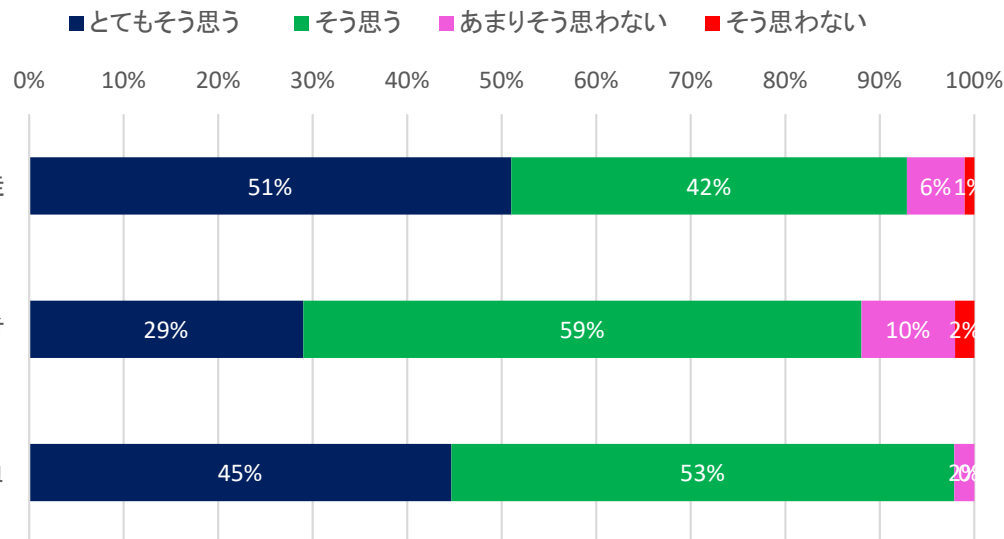
4. おおぐろの森中学校の生徒は、友達と力を合わせ、学習や学校行事に取り組んでいる。(協働)



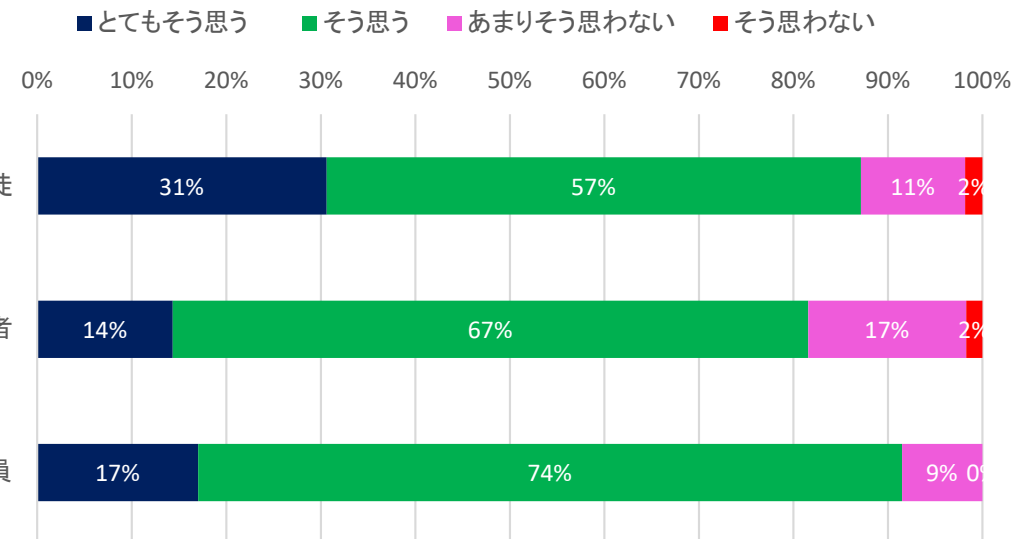
5. おおぐろの森中学校の生徒は、友人、家族、他の人のために行動している。(貢献)



5. おおぐろの森中学校の生徒は、友達と力を合わせ、学習や学校行事に取り組んでいる。(協働)



6. おおぐろの森中学校の生徒は、友人、家族、他の人のために行動している。(貢献)

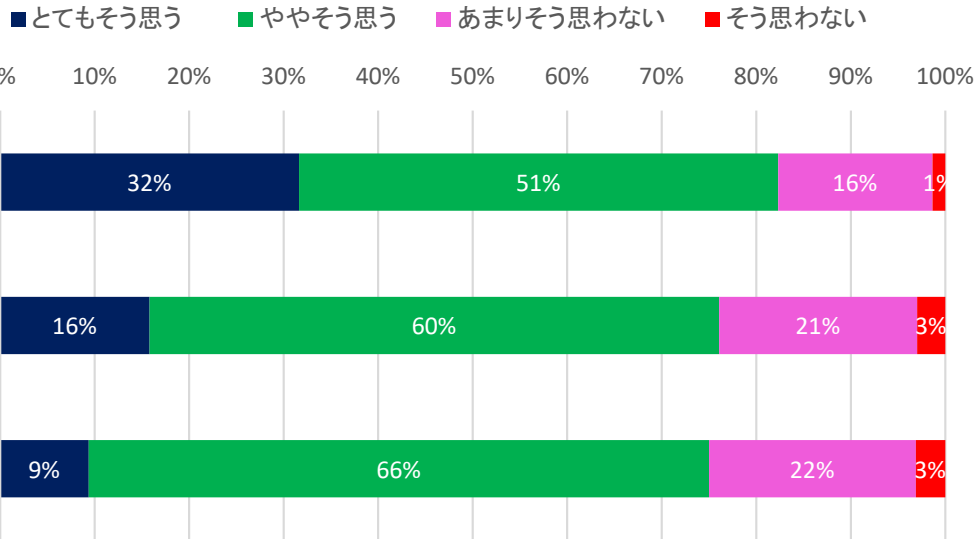


学校評価アンケート比較

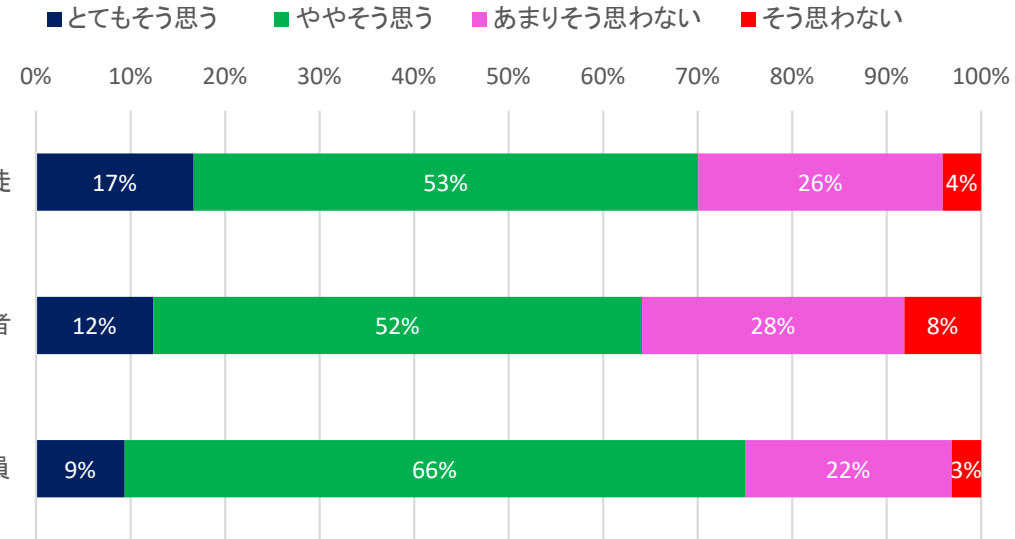
生徒 538人中490人 回答
保護者 504世帯中293世帯回答
教職員 47人中 47人 回答

No.4

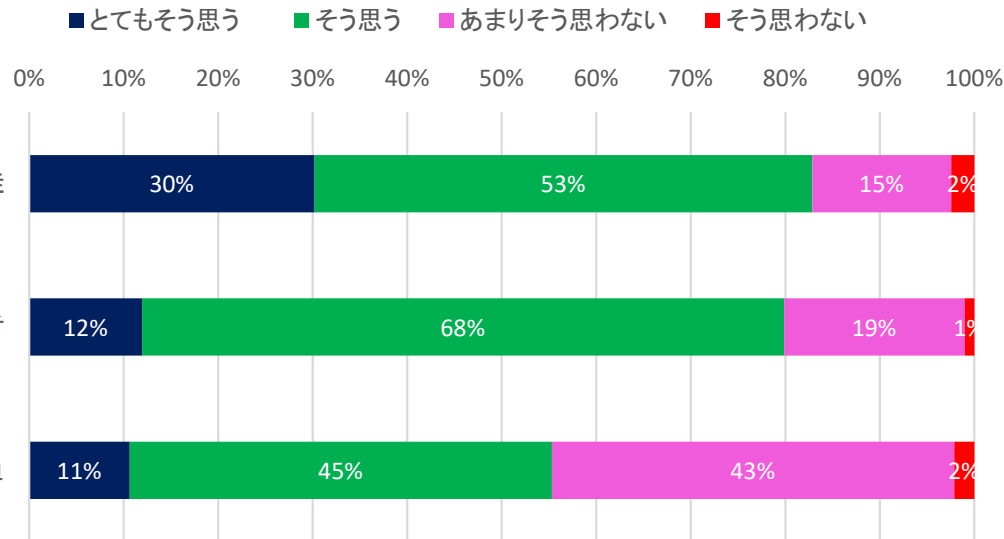
6. おおぐろの森中学校の生徒は、礼儀正しく心あるあいさつができています。



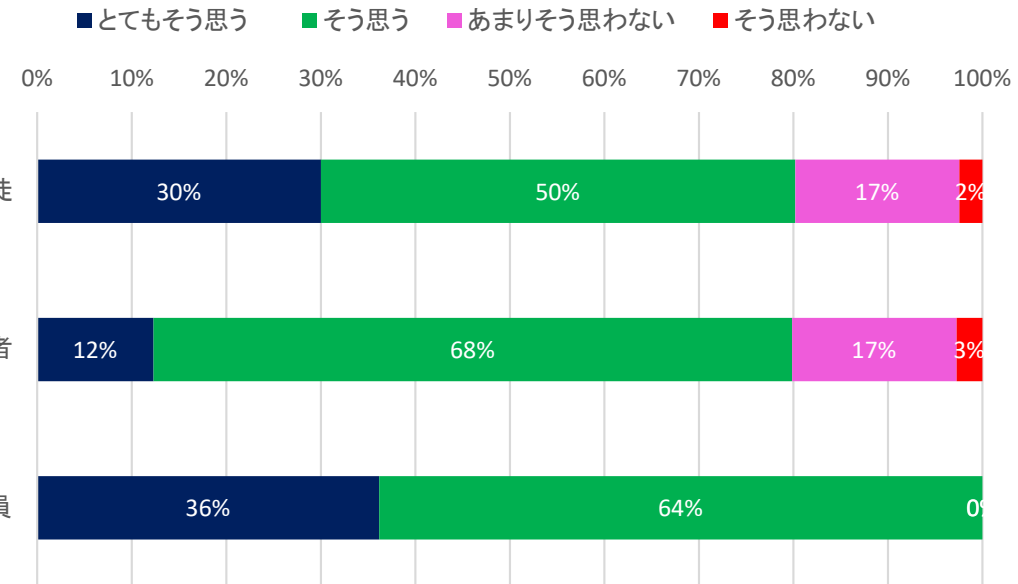
7. おおぐろの森中学校の生徒は、熱心に授業を受け、家庭学習にきちんと取り組んでいる。



7. おおぐろの森中学校の生徒は、礼儀正しく心あるあいさつができています。



8. おおぐろの森中学校の生徒は、授業を楽しく受けている。



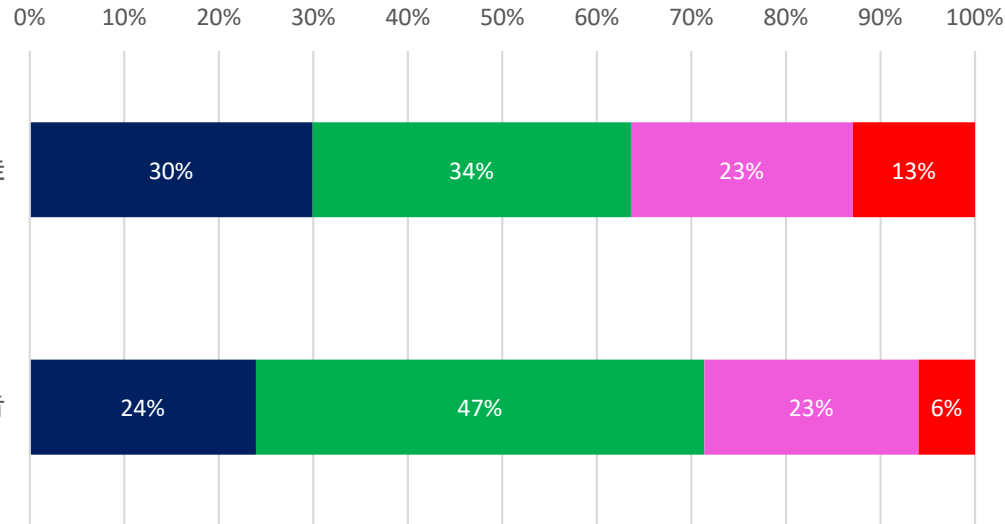
学校評価アンケート比較

生徒 538人 中490人 回答
保護者 504世帯中293世帯回答
教職員 47人 中 47人 回答

No. 5

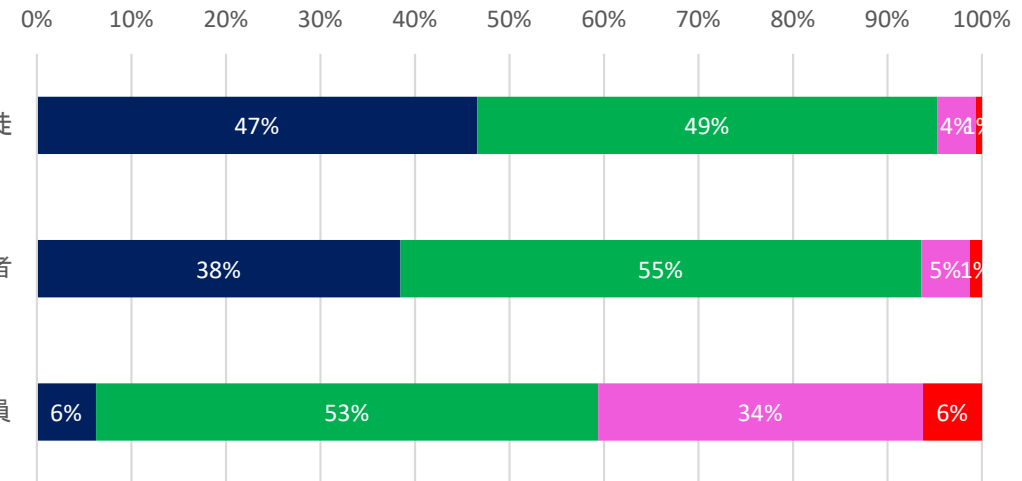
8. おおぐろの森中学校の生徒は、家で学校の話をよくする。

■ とてもそう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない



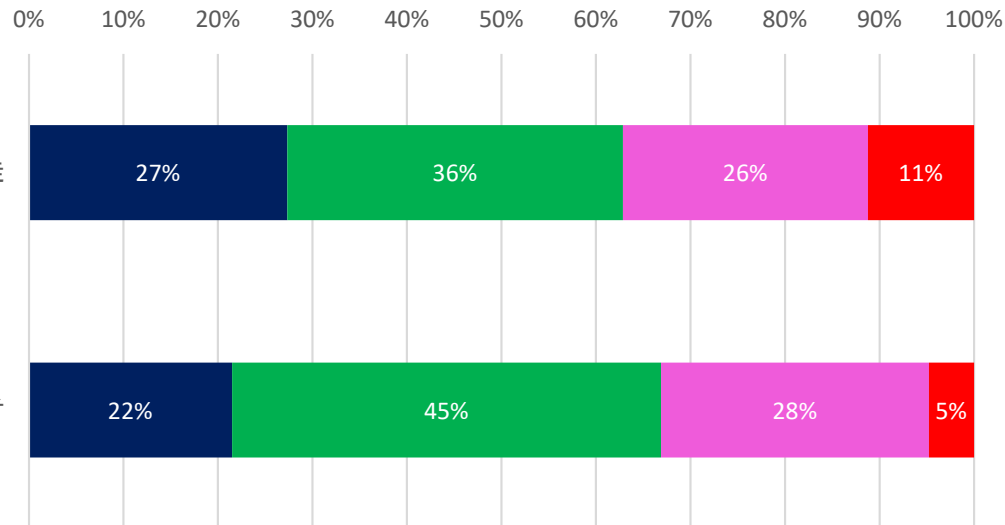
9. おおぐろの森中学校の生徒は、交通ルールを守り、安全に登下校している。

■ とてもそう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない



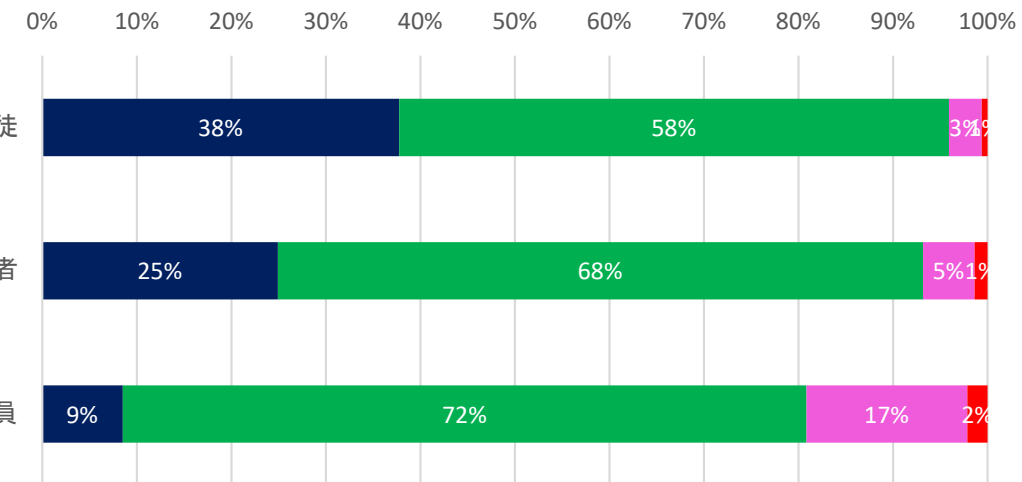
9. おおぐろの森中学校の生徒は、家で学校の話をよくする。

■ とてもそう思う ■ そう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない



10. おおぐろの森中学校の生徒は、交通ルールを守り、安全に登下校している。

■ とてもそう思う ■ そう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

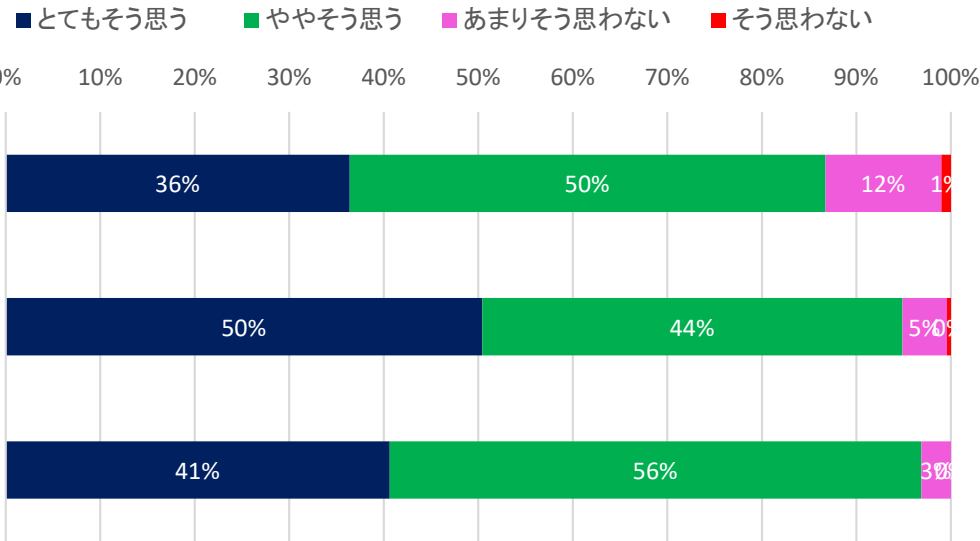


学校評価アンケート比較

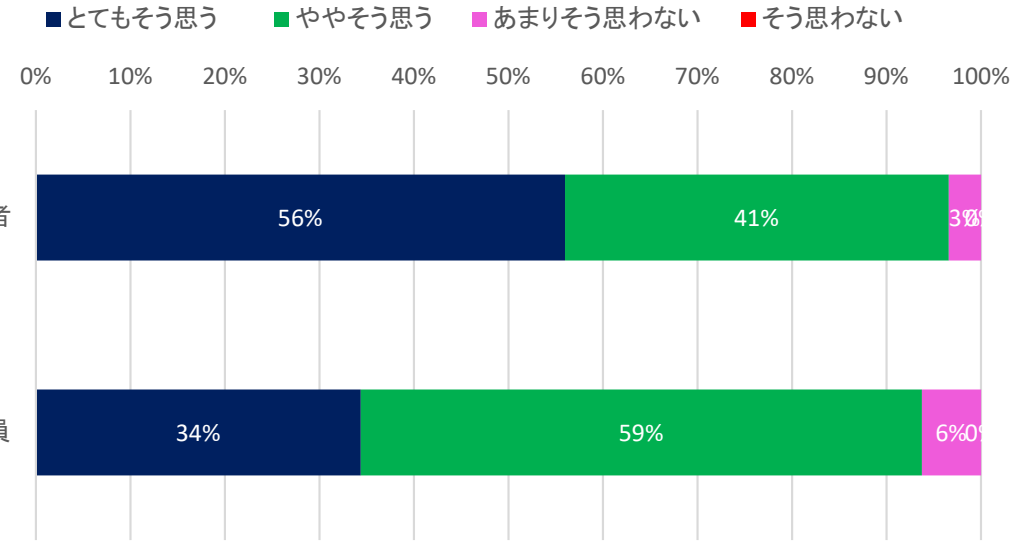
生徒 538人中490人 回答
 保護者 504世帯中293世帯 回答
 教職員 47人中 47人 回答

No. 6

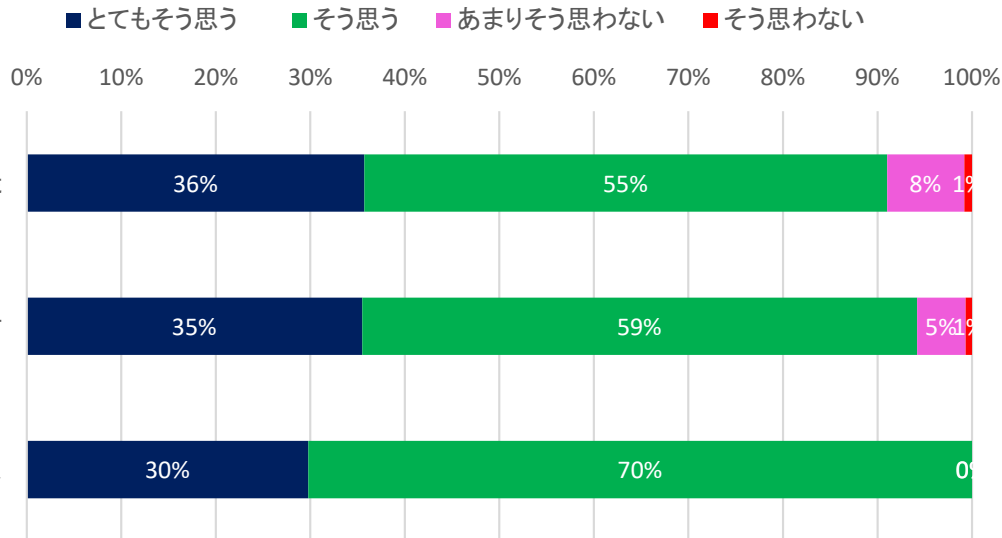
10. おおぐろの森中学校の教職員は、生徒一人一人に寄り添い、丁寧に話を聞いている。



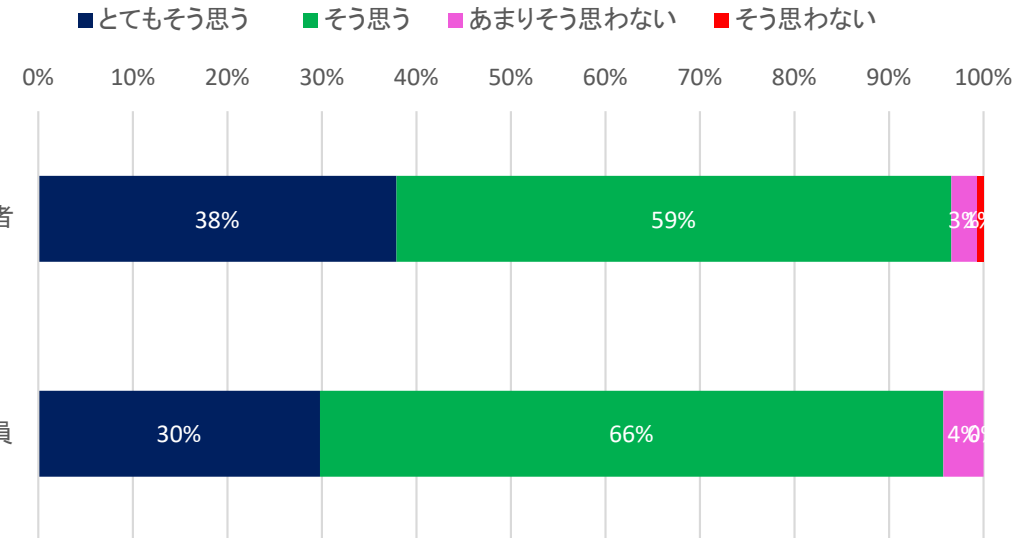
11. おおぐろの森中学校の教職員は、保護者の話を丁寧に聞いている。



11. おおぐろの森中学校の教職員は、生徒一人一人に寄り添い、丁寧に話を聞いている。



12. おおぐろの森中学校の教職員は、保護者の話を丁寧に聞いている。

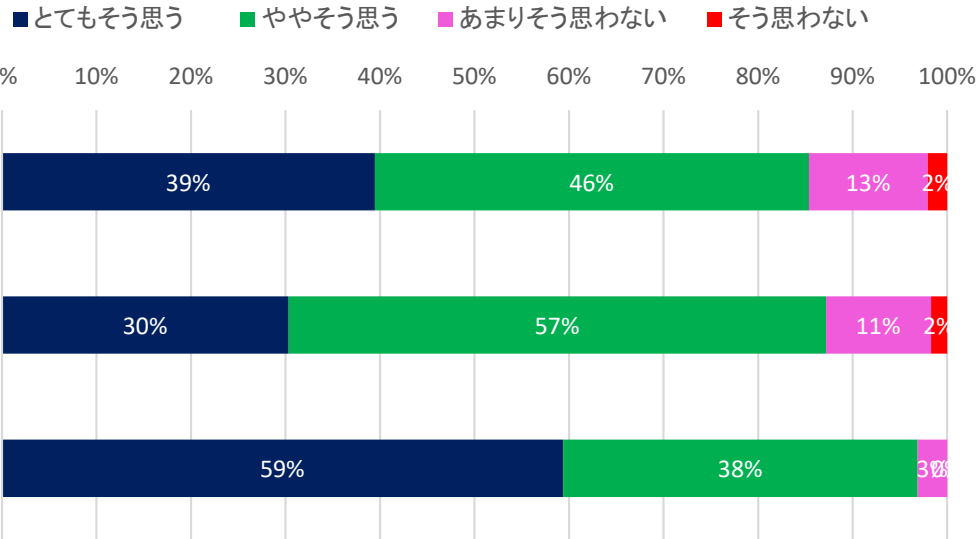


学校評価アンケート比較

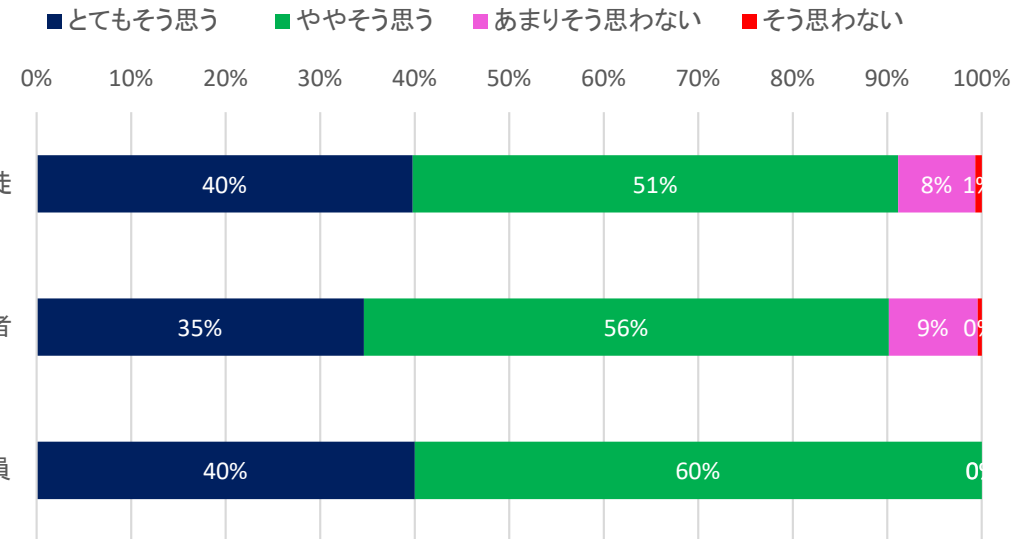
生徒 538人 中490人 回答
 保護者 504世帯中293世帯回答
 教職員 47人 中 47人 回答

No.7

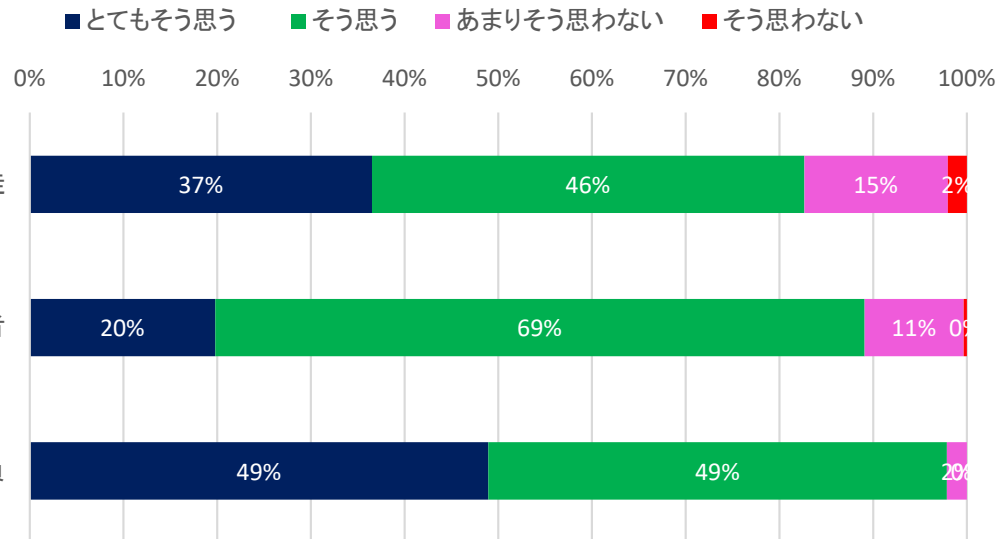
12. おおぐろの森中学校の教職員は、いじめを絶対に許さない取り組みを行っている。



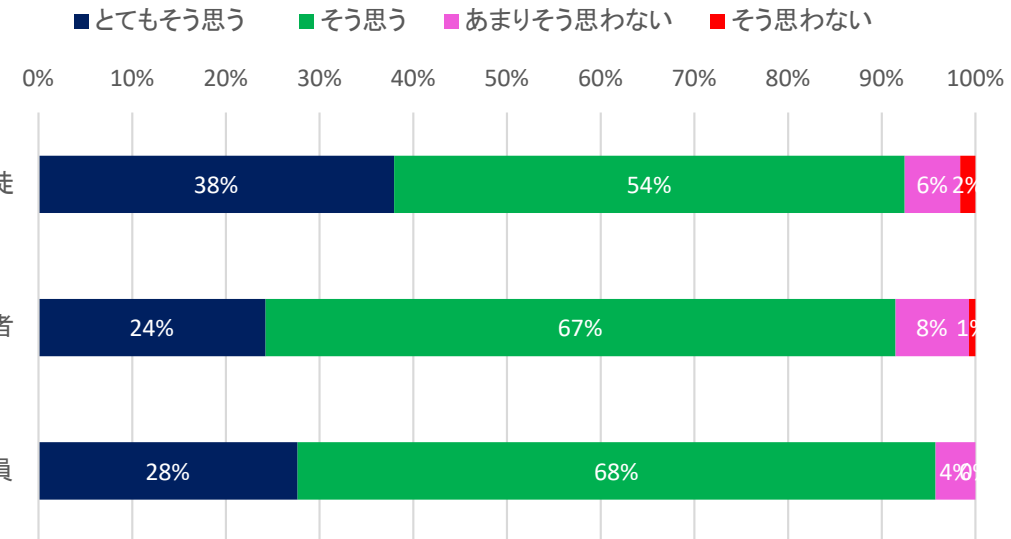
13. おおぐろの森中学校の教職員は、わかる授業・魅力ある授業への努力をしている。



13. おおぐろの森中学校の教職員は、いじめを絶対に許さない取り組みを行っている。



14. おおぐろの森中学校の教職員は、わかる授業・魅力ある授業への努力をしている。

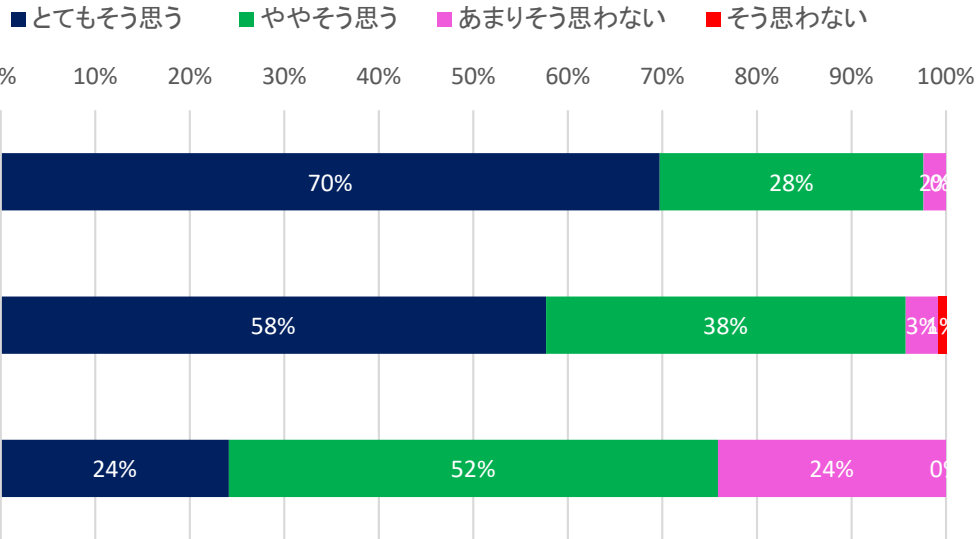


学校評価アンケート比較

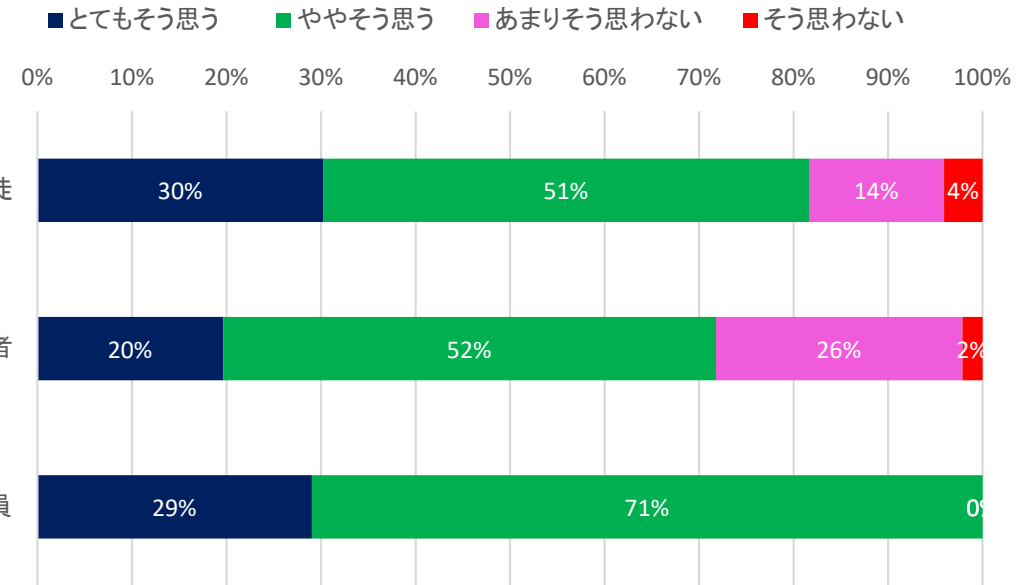
生徒 538人 中490人 回答
保護者 504世帯中293世帯回答
教職員 47人 中 47人 回答

No. 8

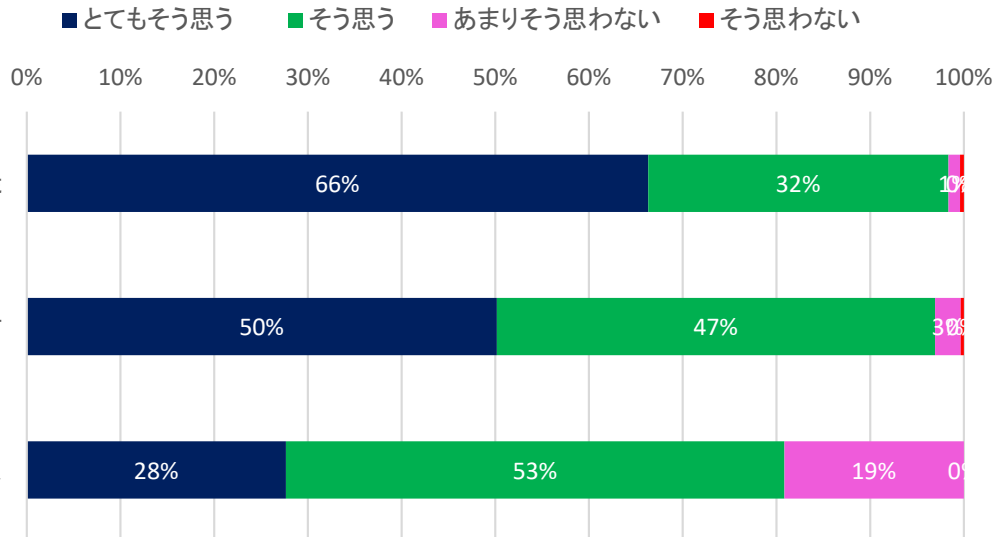
14.おおぐろの森中学校の教職員は、ICTを利用した授業(一人一台タブレット等)を積極的に行っている。



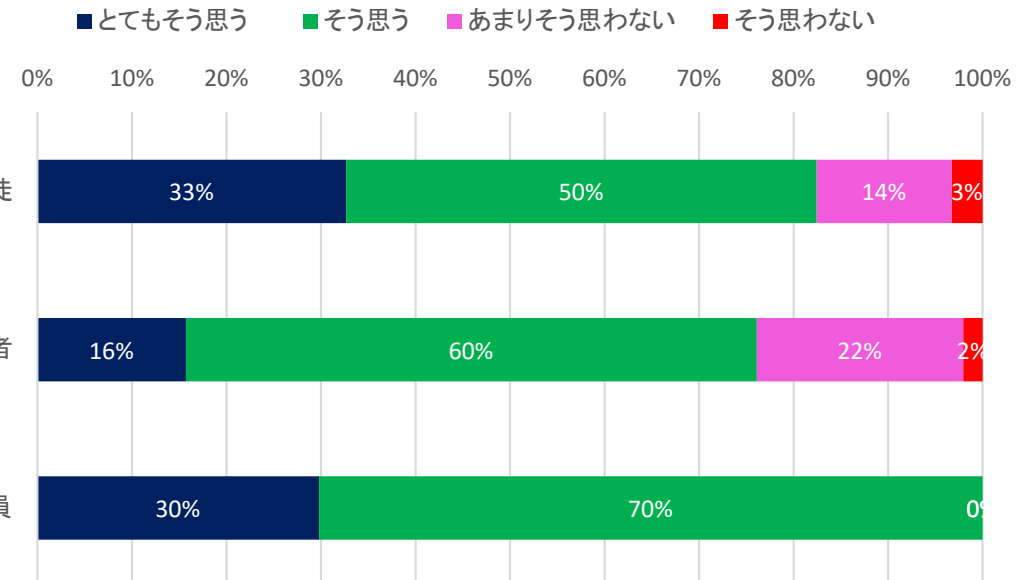
15.ICTを利用した授業に学習効果を感じている。



15.おおぐろの森中学校の教職員は、ICTを利用した授業(一人一台タブレット等)を積極的に行っている。



16.ICTを利用した授業に学習効果を感じている。



学校評価アンケート比較

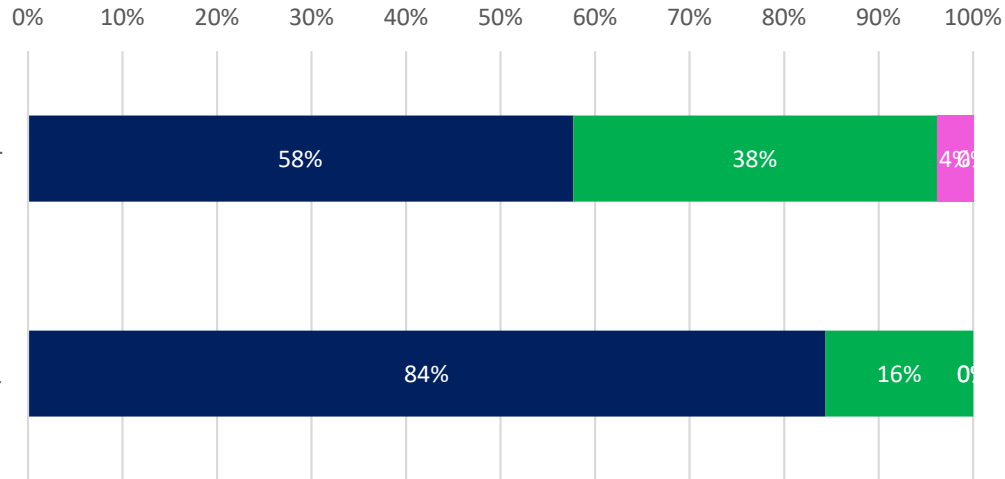
生徒 538人 中490人 回答
保護者 504世帯中293世帯回答
教職員 47人 中 47人 回答

No. 9

16. おおぐろの森中学校は、ホームページや学校だより等で、学校の取り組みを保護者に伝えている。

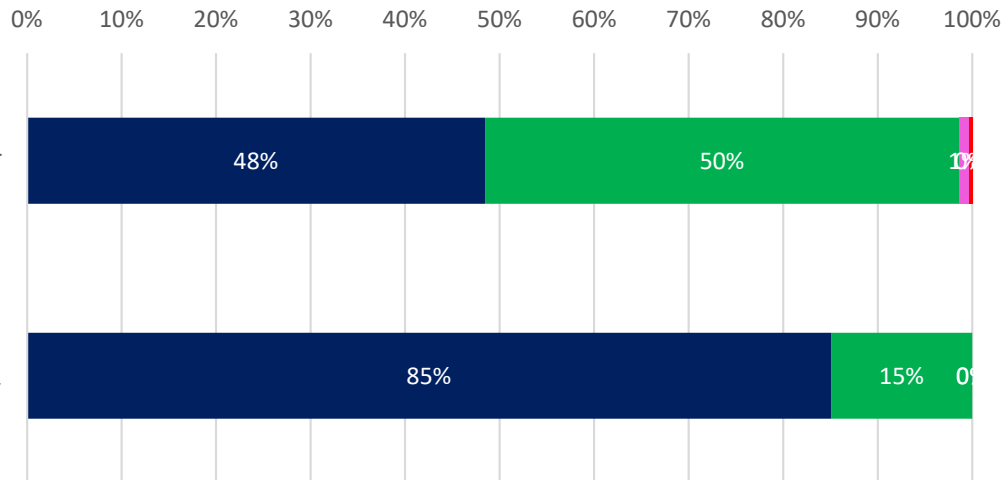
上段 令和4年度
下段 令和5年度

■ とてもそう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない



17. おおぐろの森中学校は、ホームページや学校だより等で、学校の取り組みを保護者に伝えている。

■ とてもそう思う ■ そう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない



令和5年度 学校評価アンケート結果についての分析

★ 生徒、保護者、教師ともに80%以上肯定的な評価のもの (令和4年度)

- 1 おおぐろの森中の学校教育目標が「自律」であることを知っている。
「知っている」の 生徒の割合 100%
保護者の割合 97%
教職員の割合 100%
- 2 おおぐろの森中の生徒は、楽しく学校に通っている。
「とてもそう思う」、「そう思う」の 生徒の割合 88% (87%)
保護者の割合 91% (85%)
教職員の割合 100% (90%)
- 3 おおぐろの森中の生徒は、自ら考え、選択して行動している。
「とてもそう思う」、「そう思う」の 生徒の割合 87% (83%)
保護者の割合 81% (84%)
教職員の割合 96% (97%)
- 4 おおぐろの森中の生徒は、友達と力を合わせ、学習や学校行事に取り組んでいる。(協働)
「とてもそう思う」、「そう思う」の 生徒の割合 93% (91%)
保護者の割合 88% (88%)
教職員の割合 98% (87%)
- 6 おおぐろの森中の生徒は、友人、家族、他の人のために行動している。(貢献)
「とてもそう思う」、「そう思う」の 生徒の割合 88% (81%)
保護者の割合 81% (79%)
教職員の割合 91% (75%)
- 8 おおぐろの森中の生徒は、授業を楽しく受ける。
「とてもそう思う」、「そう思う」の 生徒の割合 80% (70%)
保護者の割合 80% (64%)
教職員の割合 100% (75%)
- 10 おおぐろの森中の生徒は、交通ルールを守り、安全に登下校している。
「とてもそう思う」、「そう思う」の 生徒の割合 91% (96%)
保護者の割合 93% (93%)
教職員の割合 81% (59%)
- 11 おおぐろの森中学校の教職員は、生徒一人一人に寄り添い、丁寧に話を聞いている。
「とてもそう思う」、「そう思う」の 生徒の割合 91% (86%)
保護者の割合 94% (94%)
教職員の割合 100% (97%)

- 1 2 おおぐろの森中学校の教職員は、保護者の話を丁寧に話を聞いている。
「とてもそう思う」、「そう思う」の 保護者の割合 97% (97%)
教職員の割合 96% (93%)
- 1 3 おおぐろの森中学校の教職員は、いじめを絶対に許さない取り組みを行っている。
「とてもそう思う」、「そう思う」の 生徒の割合 83% (85%)
保護者の割合 89% (86%)
教職員の割合 98% (97%)
- 1 4 おおぐろの森中学校の教職員は、わかる授業・魅力ある授業への努力をしている。
「とてもそう思う」、「そう思う」の 生徒の割合 92% (91%)
保護者の割合 91% (91%)
教職員の割合 96% (100%)
- 1 5 おおぐろの森中学校の教職員は、ICT を利用した授業(一人一台タブレット等)を積極的に行っている。
「とてもそう思う」、「そう思う」の 生徒の割合 98% (98%)
保護者の割合 97% (96%)
教職員の割合 81% (76%)
- 1 7 おおぐろの森中学校は、ホームページや学校だより等で、学校の取り組みを保護者に伝えている。
「とてもそう思う」、「そう思う」の 保護者の割合 98% (96%)
教職員の割合 100% (100%)

★ 生徒、保護者と教師のギャップが大きいもの

- 2 おおぐろの森中学校の生徒は、楽しく学校に通っている。
「あまりそう思わない」、「そう思わない」の 生徒の割合 12%
保護者の割合 10%
教職員の割合 0%
- 教職員は、学校行事や部活動、授業で生徒一人ひとりの特性を生かし、個を発揮するような取り組みを企画する。
具体的方策：生徒一人ひとりの自己有用感や自己肯定感を高められるよう、日常の生活の中で、楽しいと思えることや自信を持って行うことができるものを見つけ出せるようにする。
- 4 おおぐろの森中の生徒は、自ら考え、意欲的に進んで生活している。(自立)
「あまりそう思わない」、「そう思わない」の 生徒の割合 16%
保護者の割合 27%
教職員の割合 9%

教職員は、生徒自らが学習や生活の目標などをたて、計画的な行動をとり、その成功体験を味わわせる。

具体的方策：ホームルームや学活等、学習の計画、学習の仕方、生活を行う上で活躍できる場所を設定する。自信を持って意見表明できる生徒を育てる。

7 おおぐろの森中学校の生徒は、礼儀正しく心ある挨拶ができています。

「あまりそう思わない」、「そう思わない」の生徒の割合	17%
保護者の割合	20%
教職員の割合	45%

教職員は、どんなときも、明るく場に応じた挨拶ができるよう自らが見本を見せていく。

具体的方策：教職員自らが率先して生徒への挨拶をおこない、場に応じた挨拶を心掛けさせる。

8 おおぐろの森中学校の生徒は、授業を楽しく受けている。

「あまりそう思わない」、「そう思わない」の生徒の割合	19%
保護者の割合	20%
教職員の割合	0%

教職員は、個別最適な学びを行い、わかる授業を行えるよう授業についての研究を深める。

具体的方策：生徒一人ひとりが自ら課題を見出し、意欲を持って取り組める授業となるようにする。

10 わが子は、交通ルールを守り、安全に登下校している。

「あまりそう思わない」、「そう思わない」の生徒の割合	4%
保護者の割合	7%
教職員の割合	19%

教職員は、地域の方々からの情報や具体的な安全な登下校の方法などを伝えていく。マナーよく地域の方に褒められたことも生徒に伝えていく。

具体的方策：警察による自転車の乗り方教室や危険な自転車の乗り方などを紹介し、絶対に事故を起こさないよう意識を高めていく。生徒会活動において動画作成等交通安全に対する意識を高める活動を行っていく。

1 1 おおぐろの森中学校の教職員は、生徒一人一人に寄り添い、丁寧に話を聞いている。

「あまりそう思わない」、「そう思わない」の	生徒	の割合	9%
	保護者の割合		6%
	教職員の割合		0%

教職員は、生徒一人ひとりの話を聞く時間を確保する。

具体的方策：教育相談期間を確保し、定期的な相談活動の時間を確保する。日常的な相談活動として、心の天気を活用したやりとりや触れ合いを大切にする。また、担任以外の教職員でも話を今以上に聞くようにし、生徒たちに安心感を持たせる。

1 3 おおぐろの森中学校の教職員は、いじめを絶対に許さない取り組みを行っている。

「あまりそう思わない」、「そう思わない」の	生徒	の割合	17%
	保護者の割合		11%
	教職員の割合		2%

教職員がアンテナを高くし、会話の中や行動において生徒の内面を感じ取っていく。見えていないことや気づいていないことがないか全職員で情報共有し、察知していく。

具体的方策：休み時間の生徒たちの様子や教育相談や心の天気の中で生徒たち変化に気づき、生徒達の日々の違いに気づけるようにする。多様性を認め、人の心の痛みがわかるよう学級活動や道徳を通して、考えていく。

1 5 おおぐろの森中学校は、ICT を利用した授業（一人一台タブレット等）を積極的に行っている。

「あまりそう思わない」、「そう思わない」の	生徒	の割合	2%
	保護者の割合		3%
	教職員の割合		19%

ICT を利用した授業について、生徒や保護者から一定の評価を得ており、教職員は、引き続き、自信を持って行っていく。

具体的方策：教科ごとに話し合う時間を確保し、お互いの ICT を利用した授業について確認を行う。生徒自らが考え、興味関心を持てる授業を ICT を利用し、より効果的は使用方法をさらに研究していく。

16 ICT を利用した授業に学習効果を感じている。

「あまりそう思わない」、「そう思わない」の	生徒	の割合	17%
	保護者	の割合	24%
	教職員	の割合	0%

ICT を利用した授業についての学習効果について、生徒や保護者にわかりやすく周知する。

具体的方策：教科で取り組んでいる ICT を利用することで、効果的で思考を深められる場面をホームページ等を利用し広く周知できるようにしていく。ICT を利用することにより、生徒の学習に対する理解や思考を深めることができる場面を多く設定する。生徒自身にも何のために使っているかを説明し、理解したうえで使えるようにしていく。

保護者

◎生活面について

1年	<p>給食について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メニューについて思うことがあるようです。子どもたちから意見を言えるような場所があれば教えてあげていただきたく存じます。 ・今後もお箸の貸し出しを行う予定はないでしょうか。スプーンと同じようにお箸も貸し出し？提供していただけると助かります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・メニューについては、給食委員会を通じ、生徒からの意見も取り入れながら作成しています。今後も生徒からの意見を取り入れながらおいしく、安全な給食を提供できるようにしてまいります。 ・生徒全員分のお箸の貸出については、洗浄機の入替等も必要になりますので、現状では難しい状況であり、予算等の相談も含め、市教委と情報を共有させていただきます。
1年	<p>自転車の乗り方についての注意点をメールや保護者会でお知らせ頂きますが、実際に登下校の時間帯に出くわしますと生徒の数が非常に多いので危ないと感じます。 特に朝の登校の時間帯は他にも通勤通学の自転車の人が多く、さらに急いで運転している人が多い為に危ない状況が多いと思います。 実際に登校時に反対側からスピードを出して走ってきた人を避けようとして、生徒同士で接触してしまい車輪が曲がって回らなくなり、学校まで自転車を引いて登校したことがありました。 来年度新生が入り自転車通学の人数がさらに増えるようでしたら、もう少し朝の開門を早くして頂くなど、登校時の混雑を分散できるようなような対策があると良いと思います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車通学に関しては、交通ルールに則った指導を行い、交通マナーについて十分生徒に考えさせていきたいと思えます。小学生、幼稚園児、一般の方に迷惑をかけず、お互い事故が起きないように、保護者、地域、関係機関の方々と協力しながら進めて参ります。登下校時間についても検討してまいります。 ・一斉下校時の時差下校については、引き続き行ってまいります。
3年	<p>登下校の安全面です。 自転車の登下校で小学校のような旗当番や見守りスポットがあったり、困った時や緊急時に通学路のお店に駆け込んでも良いなど、安心できる地域の目を予め意識して、生徒達に登下校してもらえたらより良いのではと思いました。 中学校の中では先生方のご指導のもと、様々な経験ができていて、自分で考える力もついてきたかなと感じます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一斉下校時の時差下校については、引き続き行ってまいります。
3年	<p>今後、新生増加に伴い、自転車通学の生徒が増える見込みだと思われれます。 特に登校時間はどの学校とも重なるため、再度、近隣のおおぐろの森小学校、小山小学校の児童にも大人数で横並びに大きく広がぬようご指導していただけると助かります。 ○中学校、学年ごとに若干の時差登下校の検討。または、徒歩通学者と自転車通学者の若干の時差登下校の検討をあげておきます。（混雑緩和のため）</p>	
1年	<p>同じ小学校同士が仲良くなっているところがあると思います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行事等を通し、生徒同士が仲良く、良好な関係を築くことができるよう引き続き取り組んでまいります。

◎学習面について

<p>1年</p>	<p>平素より大変お世話になっております。また、熱心なご指導に感謝申し上げます。 体育の授業について2点ほど意見具申させていただきます。 1点目は、柔道の授業についてです。運動会等での「組体操」同様、大きな危険を伴うものであり、素人の生徒には採用する必要性の無い種目と思いますので、今後見直しについてご検討いただきますよう希望いたします。現に私の友人も高校の時の柔道で頸椎を骨折し亡くなっております。何卒正しいご判断を切に願います。 2点目ですが、夏季の水泳授業の保護者参観（オープンスクール）です。水泳授業をオープンにする必要性は一切無いと思います。このご時世、不快に思う生徒・保護者は多いと思います。どうしてもされる場合は、入場者の身元確認（保護者か否か）と持ち物チェック（撮影機材を持ち込んでいないか）が最低限必須かと思えます。 この2点目については、判断は容易（オープンスクールで水泳授業をしなければよいだけ）なので是非にお願い申し上げます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・柔道の授業については、学習指導要領の武道（柔道・剣道、相撲）の中から選択しております。それぞれの発達段階に応じて学年にあった、技や受け身を確実に身につけられるようにしています。1年生は、特に立ち技ではなく寝技や受け身などを中心に安全に配慮しながら行っています。 ・水泳の授業については、保護者参観において行わないようにいたします。
<p>1年</p>	<p>定期テストの結果に学年順位を付けるなら、専科も含めた総合順位も出して欲しいです。うちの子は専科も頑張っているのでもちベーションアップに繋がると思っています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テストの学年順位については、3・5教科の合計のみの順位として年度途中から変更しました。平均点や学年順位は、1つの指標と考えております。それぞれの定期テスト時の専科テストの教科科目が違うため、3・5教科にのみの順位表示としています。

1年	宿題無しの方針を変えてほしい。	
1年	自律難しいです。 自律のわりに、中間、期末テストの学習計画表は、とても高い高い計画がガイドとして出されてる。自分のペースでやるということが理解できず、理想の自律のプレッシャーに押し潰されそうになってます。うちの子供はこうしなくてはならない、と感じることか多く、いつもプレッシャーを感じています。	
1年	勉強習慣を身につけるためにはやはり普段から宿題はあって良いと思います。今のやり方は塾ありきの学習方針に感じてしまいます。	
2年	宿題を出さない。というモットーは決して悪いとは言いません。ただ、宿題という課題がないため、机に向かいません。やらされている。という感覚は、確かに自立では無いと思います。でも、塾に通えない。勉強の仕方が分からない。宿題が無いから、机に向かう理由が無い。机に向かいたくない。という気持ちを助長させている場合もあります。補習や、何点以下は課題提出等の措置を取っていただきたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・宿題については、長期休業中の一律の宿題は出さないとしています。与えられたものではなく、自分でやるべきことを考え、学習していくことを目標としています。テストの結果や日々の授業から自ら必要なことを考え、目標を持って取り組むことができるように引き続き、アドバイスしてまいります。 ・学習方法等の質問は、学級担任、教科担任等個別に行い、個に適した学習方法について、今後も指導してまいります。 ・学校ホームページより文部科学省「子供の学びの応援サイト」や千葉県教育委員会「チーてれStudyNet」等も御活用ください。
2年	長期休暇の自らの勉強は中学生にはムリな気がします。	
2年	中間、期末のテスト範囲が広く、問題も難しい為、テストの点も取りづらく、内申点も近隣の中学校に比べると取りにくいと先輩ママから伺って、うちの子は理解するのに時間もかかるので、難しくするなら出来ない子の底上げもしてほしいと思いました。 宿題もないですし、自律と言うか、出来る子は良いのですが、出来ない子は見捨てられてるような気もしてしまい、来年受験生の親としては不安です。	
2年	宿題を出して欲しいと思います。塾にも通っていないので家で勉強する習慣が全く無くなってしまったので。	
3年	授業についていけない生徒のフォローをお願いしたいです。特に英語と数学は、学力別に授業をしていただけますと大変助かります。 また、放課後の補習授業や土日の学習のための教室解放等をご検討いただきたいです。	

1年	<p>先日、オンラインでの授業がありました。授業参観の時と全く違う先生とのやりとりが見ることができて、子供達の意見交換などもみれて、興味深い1日でした。</p> <p>先生の準備などもあるのかとおもいますが、荒天の時、学級閉鎖の時、積極的にオンライン授業に切り替えて授業を進めてもいいのではないかと思います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・荒天時や学級閉鎖、感染症対策等、積極的にオンライン授業ができるよう、常に準備を進めてまいります。 ・今年度は、感染症での学級閉鎖でのオンライン学習も行っています。 ・年1回の「オンライン授業の日」は継続いたします。
2年	<p>オンライン授業に対して 教師の皆様は、しっかり責任を持ってほしい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・移動教室等でつながらなくなってしまうようなことがあることを認識しており、生徒や職員間での情報共有や連絡等を適切に行ってまいります。
2年	<p>ICTを利用した授業は画期的だが、授業の受け方について ルール設定が必要かもしれない。 生徒間の学力の差がより開いてきている様に思う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレットの使い方について、生徒自身にも考えさせ、授業中に何を目的として行うものかなどを考えさせ、今後も研究していきます。
2年	<ul style="list-style-type: none"> ・日本はIT、ICTの教育が世界的に見ると非常に遅れていると感じる。日本の中では本校は進んでいるほうだとは思いますが、プログラミング等のもっと実践的な教育を標準化していかないと、今後も日本はどんどん世界から取り残されていってしまうのではないかと危惧する。 ・昔と比べて今の子どもたちは運動量が減っており、体力や運動能力の低下が見られると聞くので、義務教育のうちにもっと体力や運動能力を身に付けられるような取り組みが必要であるように感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTの教育については、メリットとして、わかりやすい授業、学習の効率化、個別学習、協働的な学び、情報活用能力等があげられます。さらに発展できるよう教職員で研究してまいります。 ・生徒の体力や運動能力の低下など、校内組織である体力向上委員会等で職員に周知しながら、保健体育の授業、部活動、食育等で引き続き、推進してまいります。
3年	<p>各先生の授業のやり方（進め方）について、生徒に良いところと悪いところのアンケートをとってみるのもいいと思います。</p> <p>他の先生がどんなことをやってるのか知る事ができるし、良いやり方は取り入れればいいし、良くないやり方をしていれば指導することが出来ると思います。</p> <p>昔のように、先生が一方向的に喋るだけの普通の授業ではないようなので、その結果を学校だけでなく（可能な範囲で）保護者にも共有してもらえれば、授業参観だけではわからない授業のやり方が親にもわかりやすくなると思います。</p> <p>上記のアンケートも漠然と授業を楽しく受けているか？や、わかりやすい授業がされているか？とありますが、正直、教科や先生によって差があると思います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・校内での研修を計画し、各教職員の授業について相互参観を行う機会を増やし、それぞれの研究に努めています。生徒からの教科ごとの意見収集を行うことなども検討してまいります。 ・授業の様子等は、ホームページや学年だより等で引き続きお知らせできるようにしてまいります。

◎ 行事面について

3年	保護者がもっと何かしらの運営に携われるといいなと思います。オープンスクールや保護者会が多く、学校に行く機会があるのは嬉しいのですが、もう少し内部に関わって協力できたら良かったなと思います。	・来年度は、コミュニティースクールの設置を進めています。ボランティア部門を作るなど、行事などにも積極的に関わっていただけるよう、検討してまいります。
2年	スーパー等々で職業体験をしている中学生を見かけ、いい経験だなと感じたので、働く場に出向き、職業体験をさせてほしいです。	・本校では、民間企業やトップアスリート等の講演会や実技指導を通して、社会に通用するキャリア教育を行っております。来年度以降も引き続き、行ってまいります。
3年	○職業体験の拡充 近隣での生徒の職業体験の場の拡充を望みます。 職業体験運営にあたっては、保護者からまずアンケートをとりボランティアとして、生徒と一緒にアポ取りのサポートをしてくださる方がどの位集まるか。お仕事で忙しい保護者が大半のため実際運営が成り立つか難しいと思いますが、今後の提案の1つとしてあげておきます。	

◎ 学校の施設面について

1年	夏の虫対策して欲しい。 今年だけで100ヶ所を超える虫刺されがあった。	原因を確認し、対応策を検討してまいります。
2年	保護者連絡用のSchITメールアプリの使い勝手が悪く感じます。学校判断では難しいかもしれませんが、アプリの変更を希望します。	使い勝手の悪い部分等、具体的に明示していただき、株式会社スキットに要望してまいります。
2年	いつもありがとうございます。 Tシャツ販売で寄付を集めるにはとてもいいと思います。 新しい学校で備品が不足していることもあるかと思うのですが、外のスピーカー等の購入資金等を寄付やクラウドファンディングで集めるのはいかがでしょうか？スピーカーの関係なのか、体育祭での音があまり聞こえませんでした。 また、合唱祭をYouTube で見たのですが、その音響(Youtube用のマイク?)も改善の余地があるように思いました。(せっかくの綺麗な歌声がマイクの関係なのか、音が悪かったです) こういった活動を行うボランティアを保護者に募ってもいいのかなと思いました。	・外のスピーカーについては、市教育委員会にも相談しながら進めてまいります。クラウドファンディング等も検討してまいります。 ・配信についての、ボランティアに関しましても、学校協働本部と協力しながら進めてまいります。

◎ 部活動について

1年	どこの部も平日最低週2回は体育館が使える計算になると思いますが、女子バスケ部は基本週1回、外練も外コートではなくラン練習が多いと聞き部活動間の練習に差を感じます。(男女バスケ部のコートの利用比率も違うと本人が言っていましたのでこちらに書かせていただきました)	各部活とも週2回の体育館の割り振りがあります。冬季期間は、下校時間も短いため、外練習が増えたことが考えられます。引き続き、公平に体育館の割り振りを行うとともに、練習内容や目的を生徒と確認しながら進めてまいります。
2年	部活動については運動量の不足や技術的指導の物足りなさを感じます。 また、気持ちの面においては、子供たちの好きや意欲を伸ばせる指導も願いたいです。(「怒る」のではなく「教えて」欲しい)	効率かつ効果的な練習方法および指導方法を教職員がさらに研究していき、部活動の目的を考えながら生徒に伝えたい内容をしっかりと理解してもらえよう、研究してまいります。
2年	部活動の遠征があるとき等、早めに概要がわかると助かります。	引き続き、部活動の予定については、事前に月練習予定や遠征の計画等でお知らせできるようにしてまいります。急な変更につきましては、スキットメール等でできるだけ早くお知らせさせていただきます。

◎ その他について

1年	アンケートなら無記名のほうが良いのでは？ 発言者がわかっている状態だと言にくいこともあると思います。	・記名していただいた上で御回答いただき、遠慮なく御意見をいただき、学校と保護者で共有し、協力できる関係を築いていければと思います。
2年	運営には直接係る問題ではないかもしれませんが、先生によっては、感情の起伏があり、指導や話し方に差があるようで、楽しめていないようです。	・生徒への支援の方法や学習指導方法について研修を重ねてまいります。
3年	定時制や通信の高校を進められたのがショックでした。 諦めないで頂きたい。	
3年	若く意欲的な先生が多く活気ある学校でとても良いと思います。反面、進路指導となると経験豊富な先生が頼もしく思えるところがあります。子供が他校と比べてしまうのか、進路の書類や段取りなどの準備の進み具合に不安を感じていることがあります。親が大丈夫だよと伝えても、やはり先生からのOKが安心できるようです。	・生徒への支援の方法や進路指導方法について研修を重ねてまいります。引き続き、進路先なども多くの提案をしながら保護者の方と協力して進められるようにしてまいります。
3年	進路で悩んでいた時に公立高校は部活やスポーツの加点や推薦など一切ない、以前はあったが今は公平に内申点や当日のテストの結果でのみ合否が決まると担任から言われた。実際はスポーツ科などでは、特技スポーツでの試験方法があり、聞いていた内容と違うと感じました。	・生徒への支援の方法や進路指導方法について研修を重ね、確実な情報が伝わるようにしてまいります。保護者の方と協力しながら進め、進路決定に向けお手伝いできるようにしてまいります。

3年	成績表・通知表・推薦などの発表を生徒個別に五十音順で行っていると聞いています。 順番の前半でもらう子は色々とお話ししているみたいですが、後半の子はほぼ毎回一言位で終わっているようです。	・返却の順番等も工夫しながら公平に個に応じた話ができるように進めてまいります。
1年	個にあった対応をしていただき、いつもありがとうございます。	
1年	経営理念をしっかりと持ち、つねに改革していく学校として、キャリア教育の充実や学びの支援に大変感謝しております。 公立中学校とは思えない、素晴らしい学校教育が、おおぐろの森中学校だけではなく流山市内全体に広がることを願っております。	
2年	おおぐろの森中学校のスタンダードが流山市全中学校のスタンダードになれば良いと思います。	
2年	いつもご指導ありがとうございます。 これからもどうぞよろしくお願いいたします。	
2年	いつもありがとうございます。何とか学校に行けているのも先生方のおかげだと思っています。	
2年	いつも大変お世話になっております。おかげさまで、元気に登校することができました。お友達や先生方に支えていただき、心より感謝しております。今後ともよろしくお願い申し上げます。	
3年	特にありません。中学校という枠にとらわれず、様々な取り組みをしているので、おおぐろの森中学校でよかったと思っています。	

3年	<p>いつも親身にお話を聞いてくださりありがとうございます。家で話を聞いていても、先生方はよく生徒を見ているなと、感じる事が多いです。</p> <p>息子から、学校が嫌だ楽しくないという言葉がこの3年間全く聞いておりません。中学になると人間関係や勉強の進度等で行きたくないと感じるのではと当初心配もありましたが、2年間無事に楽しく過ごせたことに感謝いたします。</p> <p>恥ずかしがりやの息子でしたが、活躍できる場を設けていただき、それがとても大きな成長となりました。</p>	
3年	<p>開校間もないのに、生徒一人一人に優しく丁寧な印象を受けております。家庭で学校の話をしてくれる事は、充実した学校生活のご提供がある事だからだと感じます。</p> <p>学区が遠い所が、大変と思いますので、交通マナーの指導は引き続き力を入れて欲しいと思います。</p>	
3年	<p>中学校の中では先生方のご指導のもと、様々な経験ができていて、自分で考える力もついてきたかなと感じます。</p>	